



事故のリスクをゼロにするために ～御協力をお願いします～

様々なご都合で、子供さんをお迎えに来られる保護者の方もいらっしゃると思いますが、特に一斉下校時、スクールバスや多くの車両で体育館前が一時混み合う状況が見られます。職員も付いていますが、子供たちの動きは時に予想できないことがあります。

そこで、事故のリスクをゼロにするために、下記のことをお願いいたします。

- お迎えの車の駐車は、保育園の共用駐車場にお願いします。
- 朝のスクールバスは7:50に体育館前に到着します。

できるだけ、この時間の敷地内への侵入はご遠慮ください。

もちろん、ケガ等による特別な事情がある場合は、この限りではありません。何卒ご協力をお願いいたします。

ご協力どうぞよろしくお願いします



前途洋々

今年もかわいい1年生が12名入学してきました！ようこそ青海小へ！

9日（水）、宇城市教育委員会も含めると、何と新入児童の約3倍の35名の来賓の方々をお迎えし、本年度の入学式を無事執り行うことができました。少し緊張した面持ちの子供たちが多くいたようですが、すぐに小学校生活に慣れていくってくれることでしょう。いよいよ義務教育の始まり。9年間の義務教育の意味は、簡単に言うと、社会生活を営むに困らない力を身に付けるということです。重要な9年間です。子供たちの育ちや学びのお手伝いが最大限にできるよう学校も力を尽くしていきます。私自身、人間の日々の生活は「旅」のようなものだと考えています。特に、学齢期の子供たちにとっては、当たり前の毎日でさえ、大きな「旅」の連続です。この旅を経て、「自立」への力を付けていくのだと思います。様々な「壁」を感じることもあって当たり前でしょう。その「壁」を乗り越えていく手助けが周囲の大人には必要ですが、これは、「壁」そのものを大人が取り扱うことではありません。「いつでもあなたの力になるよ」というメッセージが必要ですし、子供の思いを理解した上で、一緒にゴールへ向かう道のりを考えていくことも出てくると思います。これが「寄り添う」ということの意味ではないかと思います。ぜひ、今後も12名の新入生の成長を応援してくださいね！



集合写真撮影準備中の一年生

様々な視点から「交通安全」を考える

10日（木）の3時間目は、毎年この時期に実施している「交通教室」でした。今年は、大岳地区交通安全協会長の水口さんを講師としてお招きし、子供たちにとって大切なことをお話ししていただきました。小さな子供たちの動きで特に気になるのは、飛び出しや周囲の安全の確認が不十分なことです。一番上の記事にも出しましたが、子供たちは大人が考えている以上に周囲の状況に気付きません。その点を踏まえて、子供たちに話をしたりハンドルを握ったりしなければならないなどいつも感じています。また、昨年度も書いたことですが、自転車ヘルメット着用努力義務化から2年。子供たちはヘルメットをかぶって自転車に乗っているでしょうか。保険加入についても気になるところです。近年、自転車に乗っていた人が他者にケガをさせたり死亡させたりして賠償責任を問われるケースをよく聞きます。また、他人の車や持ち物等に損害を与えるケースもあります。「加害者」となってしまった場合に相手の損害をカバーできる保険は、それぞれのご家庭で検討していただく必要があります。この点からも「交通安全」について考えていただければと思います。

